

星の子だより



第22号 2016年6月発行
東北大学病院病後児保育室
星の子ルーム

新年度が始まってしばらく経ち、仙台は過ごしやすい季節になりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。病後のお子さんの保育を目的に開設された星の子ルームは今年で15年目を迎えます。その星の子ルームを支える現在のスタッフは皆ベテランですが、近年順に、病児保育専門士の資格を取得しています。高い専門性を日々の保育に生かし、より良い保育の実践に努めておりますので、お子様の具合が悪い時には安心してご来室ください。星の子ルームは一度利用されるとリピーターとして利用される保護者が多く、スタッフの仕事ぶりを評価していただいている証と感謝しております。まだ利用されたことのない方がお近くにおられましたら、星の子ルームをお勧めくださるようお願い申し上げます。

東北大学病院病後児保育室運営委員・実務者委員
石井恵子(医学系研究科・感染分子病態解析学分野)



昨年度の利用状況

平成27年度の星の子ルームの利用状況をお知らせします。

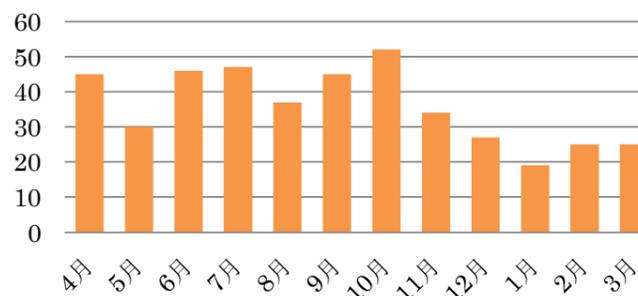
1年間の利用人数は432人で1日平均1.77人となり、満員になった日は3日間(1%)でした。

例年通り春先から秋にかけての利用が多くなり、年明け1月からは減少傾向となりました。(グラフ1)

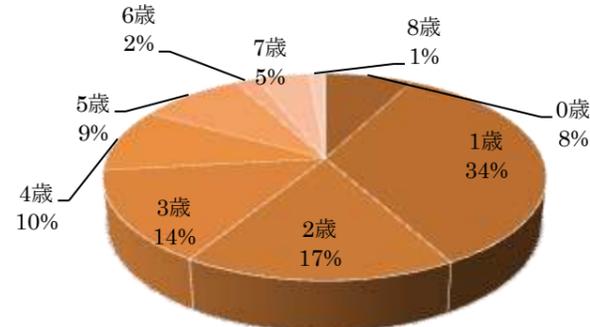
年齢別でみると、1、2歳のお子さんの利用が多く、半数以上を占めているのが分かります。(グラフ2)

この年齢は保育園に通い始めたり、クラス替えなどの環境の変化で体調を崩しやすいようです。疲れているかなと感じた時は早めに就寝し、週末をゆっくり過ごすなどの工夫をしましょう。

利用延べ人数 (グラフ1)



年齢別割合 (グラフ2)



ほいくつのように



星の子ルームでは、体調がすぐれない上に慣れない環境で不安を感じている子ども達が少しでも笑顔で過ごせるように、保育園や幼稚園で馴染みのある絵本や紙芝居の読み聞かせや、パネルシアターなどを取り入れています。

ごっこあそびの前や給食・お昼寝の前など少し気持ちをゆったりとさせたい時などに読み聞かせをすると、寂しい顔も安心した表情になり、落ち着いて絵本や紙芝居を見ています。

このように、当保育室ではお話しを通して子ども達と触れ合う時間をとても大切にしています。



わあ～おいしそうだね



はらぺこあおむしがおおきくなったね



きれいなちょうちよがとんできたよ



お知らせ

☆初めてのご利用☆

事前登録は必要ありません。電話などで予約の上、利用当日に「登録票」「利用申込書」「こどもカルテ」「かかりつけ医連絡票」をご持参ください。(書式は下記HPから入手できます。)

☆かかりつけ医連絡票☆

かかりつけ医連絡票の有効期限は、処方期間及び次回受診日までとなっております。処方なし、次回受診の予定がない場合は最大で7日間までです。

☆学生実習のご協力をお願い☆

小児科の臨床実習の一貫として、当保育室で本学医学部5年生がスタッフとともに保育の介助をさせていただくことがあります。どうかご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

☆駐車場☆

当保育室には専用の駐車場はありません。送迎時のみ職員駐車場を一時的に利用できます。詳しくは予約時にスタッフにお問い合わせ下さい。



◎ 予約・問い合わせ 022(717)7819

◎ メールアドレス hoshinoko@grp.tohoku.ac.jp

◎ ホームページ <http://www.morihime.tohoku.ac.jp/hurdling/hoshi.html>